

○市内総生産あたりの産業廃棄物発生量

横浜市では、事業活動における産業廃棄物の発生抑制を測る指標として、市内総生産あたりの産業廃棄物発生量の推移をモニターしています。

平成27年度の市内総生産あたりの産業廃棄物発生量は、百万円あたり0.76トンでした。

また、市内総生産は、毎年、過去に遡って再計算されるため、過年度の数値も変更されます。

		A:産業廃棄物 発生量(トン)	B:市内総生産 ※(百万円)	A/B:発生量指標 (トン/百万円)
5 次 計 画	平成 18 年度	11,746,000	13,026,300	0.90
	平成 19 年度	11,282,000	13,184,037	0.86
	平成 20 年度	10,777,000	13,066,573	0.82
	平成 21 年度	10,119,000	12,560,624	0.81
	平成 22 年度	10,782,000	12,731,147	0.85
6 次 計 画	平成 23 年度	11,018,000	12,944,976	0.85
	平成 24 年度	10,930,000	12,906,480	0.85
	平成 25 年度	11,105,000	13,176,569	0.84
	平成 26 年度	10,330,000	12,890,082	0.80
	平成 27 年度	10,012,000	13,123,845	0.76
7 次 計 画	平成 28 年度	10,000,000		
	平成 29 年度			
	平成 30 年度			
	平成 31 年度			
	平成 32 年度			

※ 出典「横浜市の市民経済計算(平成23年度基準)」

市民経済計算における市内総生産の経済活動別分類の変更に伴い、平成29年度の取組報告より、市内総生産の数値を変更しています。